

中学入試ガイド

1. 入試概要

◆ 帰国生入試日程

■ 首都圏 《東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県》

東京都・神奈川県では私立中学校一般入試の解禁日は2月1日です。それより早い日程に入試が行われることはありません。一方、帰国生入試は一般入試よりも早い日程に実施することができます。(東京都では2025年度帰国生入試は11月20日に解禁となります。)2月1日一般入試解禁日以前に帰国生入試を行っている中学校は、海外・帰国生のための独自入試を、一般入試とは切り離して実施しているということになります。その他の中学校は、2月1日以降の一般入試と同じ日程の実施になります。つまり、帰国生は、入試日程をうまく調整すれば幅広く受験校を選択することができます。これが最も大きなメリットといえるでしょう。ただし合格発表日の数日後に手続き締め切りとなる学校もありますので、その日程もスケジュールに組み込んでおく必要があります。また、人気校の帰国生入試競争率は一般入試よりも高くなることもありますので、しっかりとした受験準備が必要になります。

帰国生入試で受験する場合は、各中学が定めた条件資格をクリアしていることが必要になりますので、募集要項などでしっかりと確認してください。判断が難しい場合は、受験校に直接お問い合わせください。

以下は一般入試と別日程で帰国生入試を実施している主な中学校になります。(※海外現地で実施する入試は含みません。)

《11月実施校》

男子校	共学校・別学校	女子校
《東京都》		
佼成学園①	郁文館 開智日本橋学園① かえつ有明_Advanced選考/Regular選考 工学院大学附属① サレジオ国際学園① サレジオ国際学園世田谷① 実践学園 芝国際① 自由学園① 淑徳 淑徳巣鴨 青稜_11月 東京成徳大学 ドルトン東京学園① 広尾学園小石川_インターナショナルAG① 文化学園大学杉並① 三田国際学園① 目白研心①	江戸川女子 大妻多摩 大妻中野① 国本女子① 京華女子_オンライン 麹町学園女子 佼成学園女子① 実践女子学園① 品川女子学院 昭和女子大学附属昭和 女子聖学院 聖ドミニコ学園_インターナショナル 中村 富士見丘① 三輪学園 山脇学園_Ⅰ期 和洋九段女子①
《埼玉県・神奈川県》		
	開智① 開智所沢中等教育① 昌平 関東学院	鎌倉女学院_11月 聖園女学院

《12月実施校》

男子校	共学校・別学校	女子校
《東京都》		
学習院 暁星 京華 佼成学園② 聖学院 立教池袋	開智日本橋学園② かえつ有明_Honors選考 啓明学園① 工学院大学附属② 駒込_12月 サレジオ国際学園② サレジオ国際学園世田谷② 芝浦工業大学附属 芝国際② 順天① 城西大学附属城西① 聖徳学園① 成蹊 成城学園 玉川学園_IB 千代田(※千代田国際から校名変更) 帝京 東京都立大学等々力 ドルトン東京学園② 広尾学園_インターナショナルAG/本科/医進・サイエンス/インターナショナルSG 広尾学園小石川_インターナショナルAG②/本科/インターナショナルSG 文化学園大学杉並② 文教大学付属 宝仙学園順天堂大学系属理数インター 三田国際学園② 武蔵野大学 目白研心② 八雲学園	跡見学園 大妻 大妻中野② 神田女学園① 北豊島① 共立女子 京華女子 佼成学園女子② 実践女子学園② 頌栄女子学園_12月 聖心女子学院 玉川聖学院_A日程 田園調布学園 東京家政大学附属女子 東京女学園 桐朋女子 トキワ松学園① 日本大学豊山女子 文京学院 大学女子①② 山脇学園_Ⅱ期_イセIA 和洋九段女子②
《埼玉県・千葉県・神奈川県》		
鎌倉学園 逗子開成 藤嶺学園藤沢	開智② 開智所沢中等教育② 埼玉平成 西武台新座 市川_12月 光英_VERITAS 翔凜_推薦 昭和学院① 西武台 千葉 秀明大学学校教師学部附属秀明八千代_専願 東邦大学付属東邦 二松学舎大学附属柏_第1志望 流通経済大学付属柏_第1志望 青山学院横浜英和 神奈川大学附属 関東学院六浦_Ⅰ期 公文国際学園 自修館中等教育 聖ヨゼフ学園_12月 日本大学 森村学園 山手学院	大妻嵐山 和洋国府台女子_推薦 神奈川学園 鎌倉女子大学 カリタス女子_12月 相模女子大学 湘南白百合学園 聖セシリア女子 清泉女学院 聖和学院① 捜真女学校① 横浜女学院_A方式/B方式 横浜雙葉

《1月実施校》

男子校	共学校・別学校	女子校
《東京都》		
海城 攻玉社 高輪 東 京都市大学付属	東京都立立川国際中等教育 東京都立白鷗高校附属 啓明 学園② 工学院大学附属③ 國學院大學久我山 サレジアン 国際学園③ サレジアン国際学園世田谷③ 渋谷教育学園渋谷 城西大学附属城西② 聖徳学園② 青稜1月 中央大学 附属 文化学園大学杉並③ 武蔵野東 明法※2025年度共学 化	学習院女子 神田女学園② 北豊島② 国本女子② 佼 成学園女子③ 白百合学園 桐朋女子② 富士見丘② 山脇学園_Ⅱ期エッセイB
《神奈川県》		
聖光学院	関東学院六浦_Ⅱ期 聖ヨゼフ学園_1月 相洋 桐蔭学園中等 教育 桐光学園 法政大学第二 横須賀学院	函嶺白百合学園 聖和学院② 洗足学園

◆ 帰国枠入試選抜方法

国・私立中学の一般入試の科目は、ほとんどが国語・算数・理科・社会の4教科、もしくは国語・算数の2教科となります。近年は英語を利用できる一般入試も急激に増えてきており、多様化しています。

帰国枠入試では、一般入試と同様の4教科や2教科、一般入試とは異なる4教科や2教科(作文を含む場合もあり)、国語・算数・英語の3教科、英語のみの1教科(英語がある場合はエッセイを含む場合もあり)など、科目はさらに多種多様です。

以下は、4科目入試以外を実施する、一般入試とは別日程の主な中学校の、2025年度入試における入試科目(面接試験は除く)の一覧です。詳細は各学校の入試要項で確認しておいてください。

■ 首都圏 ※ 「作」は日本語作文・小論文、「エ」はEssay・Story Writingなどを表しています。

《東京都》

学校名	入試科目
東京学芸大学附属国際中等教育	A方式:作(日+外国語) B方式:適性検査
東京都立立川国際中等教育	作 or エ
東京都立白鷗高校附属	作 or エ
跡見学園	国算作
郁文館	英
江戸川女子	基礎学力型:国算or国算英 英語特化型:英
大妻	国算英から2科目
大妻多摩	算(計算力確認)作 or 算(計算力確認)作英
大妻中野	国算 or 英
海城	A方式:国算 B方式:国算英
開智日本橋学園	国算エ
かえつ有明	Advanced選考/Honors選考:英作エ Regular選考:国算
学習院	国算
学習院女子	国算作 or 国算エ
神田女学園	国英
暁星	国算英 or 国算仏
共立女子	国算 ※英語資格を得点換算し国と比較, 高い方を採用
国本女子	国算 or 国英 or 英
京華	国算 or 算英
京華女子	国算
啓明学園	日本語型:国算 or 国英 or 算英 英語型:作エ 外国語型:作・外国語作
工学院大学附属	国算 or 国英 or 算英 or 英
攻玉社	国算 or 英 ※願書提出時に作
麹町学園女子	英
佼成学園	※出願時に作
佼成学園女子	2科型:国算 英語型:作
國學院大學久我山	国算 or 算英
駒込	算作 or 算エ
サレジアン国際学園	インターナショナルSG:国算 インターショナルAG:英エ
サレジアン国際学園世田谷	英エ
実践学園	作エ
実践女子学園	算
品川女子学院	国算

学校名	入試科目
芝浦工業大学附属	国算
芝国際	国算英
渋谷教育学園渋谷	国算英 or 国算作
自由学園	国算英から2科目 ※出願時に作
淑徳	国算
淑徳巣鴨	国算英 or 国算理社
順天	算英作
頌栄女子学院	英語入試:英 3教科入試:国算英
城西大学附属城西	国算 ※CEFR A2以上で学科免除
聖徳学園	国算英から2科目 ※英検3級以上で英免除
昭和女子大学附属昭和	国算 or 国算英
女子聖学院	算作 ※英検準2級10点・2級20点・準1級30点加点
白百合学園	国算英 or 国算仏
聖学院	A方式:英 B方式:国算
成蹊	国算英
成城学園	国算
聖心女子学院	国算
聖ドミニコ学園	英作
青稜	国算 or 国算英 ※英は任意
高輪	国算 or 国算英
玉川学園	IB:算英(英語による出題)・日本語
玉川聖学院	国算
中央大学附属	国算
千代田(※旧 千代田国際)	教科型:国算 英語型:工
帝京	英作
田園調布学園	A:国算 B:算英 C:算 ※CはCEFR B1【英検2級、TOEFL iBT 42点など】以上の証明
東京家政大学附属女子	国算英から2科目・作
東京女学館	国算 or 算英 ※英検準2級以上で英免除(希望者)
東京成徳大学	国算 or 算英
東京都市大学等々力	国算作 or 算英作
東京都市大学付属	A方式:国算英 B方式:国算 or 国算理社
桐朋女子	作(英 or 仏 or 独)
トキワ松学園	国算英から2科目 ※英選択で英検3級以上は英免除
ドルトン東京学園	A方式:作工 B方式:国算 ※CEFR B2/英検準1級以上で工免除対象
中村	国算英から2科目
広尾学園	インターナショナルAG:国算英(算英は英語で出題) 本科/医進・サイエンス/インターナショナルSG:国算
広尾学園小石川	インターナショナルAG:国算英(算英は英語で出題) 本科/インターナショナルSG:国算
富士見丘	A方式:作工 B方式:国算英から2科目
文化学園大学杉並	国算 or 国算英
文京学院大学女子	A方式:英 B方式:国算 or 国英 ※出願時に作
文教大学付属	算作
宝仙学園順天堂大学系属理数インター	選択2科型:国算 or 算英
三田国際学園	IC:英 ISC:国算英
三輪田学園	A方式:国(作)算 B方式:算 ※B方式は英検3級以上でみなし点
武蔵野大学	国算
武蔵野東	A:国算 B:算英 ※英検準2級以上 or TOEIC 450以上 or TOEFL Junior645点以上で英免除
明法	国算
目白研心	現:英 日・英語圏以外:国算
八雲学園	国算 or 算英
山脇学園	I期:国 or 算 or 国算 II期:作工
立教池袋	国算
和洋九段女子	国算英から2科目 or 英

《埼玉県》

学校名	入試科目
大妻嵐山	総合(国算)
開智	11月国際生 E方式:国算英 J方式:国算 12月 国算工
開智所沢中等教育	11月国際生 E方式:国算英 J方式:国算 12月 国算工
埼玉平成	算英作
昌平	A:英作 B:国算
西武台新座	作 ※事前提出

《千葉県》

学校名	入試科目
市川	国算英
光英VERITAS	国算 or 国算理社
渋谷教育学園幕張	英工
翔凜	国算
昭和学院	国算英から2科目
西武台千葉	国算
東邦大学付属東邦	国算英
二松学舎大学附属柏	算英作から2科目+表現力検査
流通経済大学付属柏	国算作
和洋国府台女子	国算 or 国算英 or 探求課題 ※英検3級以上で英免除

《神奈川県》

学校名	入試科目
青山学院横浜英和	国算英 ※CEFR A2以上の証明
神奈川学園	国算 or 国算作
神奈川大学附属	算英
鎌倉学園	作
鎌倉女学院	作工
鎌倉女子大	作(自己PR)
カリタス女子	算英作 or 算仏作 ※2年以内に英検2級以上 or 仏語検定2級以上で外国語免除
関東学院	国算 or 算英 ※CEFR A2以上で加点
関東学院六浦	国算
函嶺白百合学園	国算英から1科目 ※英検3級以上で英免除
公文国際学園	英・適性検査
自修館中等教育	国算英から2科目
湘南白百合学園	A方式:国算英 B方式:国算
逗子開成	A:国算 B:算英 ※事前に作
聖光学院	国算 or 算英
聖セシリア女子	国算英から2科目
清泉女学院	A方式:算作 B方式:英作
聖ヨゼフ学園	算 ※事前に作 or 工
聖和学院	英
洗足学園	A方式:英 B方式:国算英
捜真女学校	国算
相洋	国算
桐蔭学園中等教育	国算 or 算英
桐光学園	国算英から2科目
藤嶺学園藤沢	国算 ※作提出
日本大学	国算 or 算英 ※英検2級以上で英免除
法政大学第二	国算
聖園女学院	計算力確認・作 or 計算力確認・工
森村学園	A型:国算 B型:国算+英語資格スコア
山手学院	国算
横須賀学院	国算 ※英検3級以上で国 or 算の1科受験可
横浜女学院	国算作 or 国英作 or 算英作
横浜雙葉	作文方式:算作 検定方式:算+英検スコア

◆ 帰国枠入試の主要中学受験状況

入試の難易度は、まずは入試科目およびその入試科目の問題自体のレベルもありますが、実質倍率も大きく影響します。以下は、2024年度帰国枠入試において受験者の多かった学校(一部を除き40名以上)について合格者数と倍率、同じ項目について2023年度入試結果を一覧にしております。

■ 首都圏 《東京都》

学校名	2024 年度			2023 年度			※注
	受験数	合格数	倍率	受験数	合格数	倍率	
東京学芸大学附属国際中等教育 A方式	137	33	4.15	154	34	4.53	
B方式	143	37	3.86	141	34	4.15	
東京都立立川国際中等教育	52	30	1.73	33	30	1.10	
東京都立白鷗高校附属	42	30	1.40	29	29	1.00	
大妻	49	39	1.26	81	60	1.35	
大妻中野 ①英	61	61	1.00	79	78	1.01	
海城 A方式(国算)	100	38	2.63	122	36	3.39	
B方式(国算英)	46	16	2.88	71	18	3.94	
開智日本橋学園 ①	96	32	3.00	146	48	3.04	
②	43	10	4.30	47	21	2.24	
かえつ有明 Advanced選考	159	111	1.43	228	177	1.29	
Regular選考	77	27	2.85	103	37	2.78	
Honors選考	117	84	1.39	161	107	1.50	
学習院	63	41	1.54	81	46	1.76	
学習院女子	45	20	2.25	23	15	1.53	
共立女子	81	50	1.62	97	63	1.54	
攻玉社 国算	74	45	1.64	66	45	1.47	
英	37	21	1.76	26	20	1.30	
サレジアン国際学園 ①	52	40	1.30	47	46	1.02	
サレジアン国際学園世田谷 ①	80	56	1.43	48	25	1.92	
品川女子学院	44	25	1.76	32	25	1.28	
芝国際 ①	89	48	1.85	192	80	2.40	
渋谷教育学園渋谷 国算作	103	27	3.81	104	26	4.00	
国算英	111	24	4.63	103	21	4.90	
頌栄女子学院 12月英1科	73	62	1.18	67	1	67.00	
12月国算英3科	48	30	1.60	50	29	1.72	
白百合学園	46	25	1.84	38	25	1.52	
青稜 11月	98	45	2.18	134	87	1.54	※2023年度は海外オンライン入試
1月	48	20	2.40	71	34	2.09	
東京女学館	50	42	1.19	55	45	1.22	
東京都市大学等々力	166	120	1.38	166	122	1.36	
東京都市大学付属 A方式(国算英)	74	30	2.47	88	40	2.20	※2023年度「作文型」含まず
B方式(国算理社)	143	82	1.74	158	86	1.84	
広尾学園 インターナショナルAG	165	53	3.11	296	72	4.11	
本科/医進・サイエンス/インターナショナルSG	171	51	3.35	261	77	3.39	
広尾学園小石川 インターナショナルAG①	139	42	3.31	244	72	3.39	
インターナショナルAG②	103	57	1.81	166	61	2.72	
本科/インターナショナルSG	111	45	2.47	166	67	2.48	
文化学園大学杉並 ※合算	75	69	1.09	91	74	1.23	
宝仙学園理数インター ※2月を除く合算	61	50	1.22	29	25	1.16	
三田国際学園 IC①	140	47	2.98	186	52	3.58	
ISC①	95	47	2.02	92	64	1.44	
IC②	88	38	2.32	136	20	6.80	
ISC②	43	18	2.39	31	12	2.58	
山脇学園 WEB	46	20	2.30	42	24	1.75	※2023年度は「WEB I期」「WEB II期」
エッセイ	99	36	2.75				
I期	111	54	2.06	108	58	1.86	
立教池袋	70	30	2.33	78	31	2.52	
立教女学院	43	24	1.79	40	21	1.90	

《神奈川県》

学校名	2024 年度			2023 年度			※注
	受験数	合格数	倍率	受験数	合格数	倍率	
神奈川大学附属	48	29	1.66	41	25	1.64	
公文国際学園	46	19	2.42	23	14	1.64	
逗子開成	56	28	2.00	57	27	2.11	
聖光学院	134	28	4.79	158	35	4.51	
洗足学園 A方式	91	42	2.17	83	40	2.08	
B方式	103	44	2.34	80	40	2.00	
桐蔭学園中等教育	53	28	1.89	62	42	1.48	
桐光学園	64	37	1.73	71	47	1.51	
日本大学	62	37	1.68	48	33	1.45	
法政大学第二	46	26	1.77	61	31	1.97	

《埼玉県・千葉県》

学校名	2024 年度			2023 年度			※注
	受験数	合格数	倍率	受験数	合格数	倍率	
開智 11月	54	39	1.38				
開智所沢中等教育 11月	49	31	1.58				
市川 12月	114	51	2.24	100	47	2.13	
1月	50	25	2.00	61	30	2.03	
渋谷教育学園幕張	148	34	4.35	137	34	4.03	
東邦大学付属東邦	80	40	2.00				

2. 受験アドバイス

◆ 学校選びのポイント

日本とは環境も言葉も異なる海外生活を過ごしてきた帰国生にとって、日本(の学校生活)に慣れるというハードルを越えなければならぬため、学校選びには特に細心の注意を払う必要があります。その際にポイントとなることを挙げておきます。

■ 学校情報を集める

(1) 学校の資料を入手する

通学可能圏内にある学校を調べるには、各出版社が出している学校ガイドや受験情報誌を参考にしてください。所在地やアクセス方法、設置クラスやコース、教育方針、大学進学実績などの概略はこれでつかめます。

しかし、この情報だけでは他校との違いにおいて詳細な部分まではわかりません。その学校が作成した案内書(学校パンフレット)や校内の情報誌などを入手すると詳細なカリキュラム・シラバスや、生徒および卒業生からの生の声が聞こえてきます。

Q&A

Q: 説明会に参加すると入試で有利ですか？

A: 説明会に参加する際、受付で受験生の氏名などを記入する場合があります。その後入試までの期間に、学校から最新の入試情報や文化祭の招待状などの「受験生へのメッセージ」が届くことがあります。そのことで本人の受験に対する気持ちが高まるという点ではメリットがあるかもしれませんが、しかしながら、可否はあくまでもその学校の選考基準によります。提出書類や入試での得点、作文・エッセイや面接の結果を総合的に判断して決定されますから、説明会への参加が可否に対しての有利不利に関わることは全くありません。

■ 情報情報を分析・検討する

(1) 校風を検討する

パンフレットの内容、電話やメールの対応、来校者への対応、校舎の外観、通っている生徒の雰囲気など、いろいろなところに校風は表れます。入試問題も中学校の特長が表れていますので、しっかり活用してください。一つの情報源だけではなかなか判断は困難ですから、こうした情報を各方面から十分に収集し、検討してください。最近は学校の口コミサイトなどもあり、実際に参考にしているケースも少なくないようです。

最も大切なことは、生徒自身や保護者が見聞きし、肌で感じ取ることです。学校の校風は、中学生よりも高校生に顕著に表れますので、分析や検討は、中学校だけではなく、高校についてももしっかり検討してください。

(2) 教育方針を検討する

各都道府県で若干の差がありますが、公立の中学校は、文部科学省の指導に従いほぼ同一の教育が行われています(中高一貫校を除く)。一方、私立の中学校は、各学校独自の教育方針のもと、個性ある教育を行っています。学校の教育方針は、その学校の具体的行事やカリキュラムに反映されます。学習以外の奉仕活動や芸術活動などを通して人間教育面の活動に力を入れている学校もあります。これ以外の学校選びでは、学習面に重きが置かれがちですが、学習以外のプラスアルファの部分にも注意を払いましょう。

(2) 学校説明会に参加する

各学校では、受験を考えている生徒やその保護者のための学校説明会や入試説明会を開いています。帰国生対象の説明会も多くなりました。コロナ禍からはオンラインによる説明会も盛んに行われています。国内一般生を対象にした説明会でも、終了後に個別相談などがありますので、積極的に参加して情報を収集するようにしてください。

説明会の実施スケジュールは、ホームページなどで告知しています。受験校を決定する上で、一時帰国などを利用して、本人を連れて学校訪問するのはとても大切なことです。説明会の参加がどうしても不可能な場合は、入試時期に早めに帰国をして、願書を提出する際に一度訪問するののも一つの方法です。

小学6年生は何かと都合がつかないケースもあるかと思いますが、小学5年生のうちから学校訪問等のスケジュールを立てておくこと余裕を持った学校選択ができます。

東南アジアや欧米の大都市では、中学校の先生が現地へ赴き、入試説明会を実施するケースも少なくありません。そういった機会も積極的に利用してください。

(3) 教育課程を検討する

進学校を選ぶ際には、その学校の進学状況を確認することが学校選びにおける大事なポイントの一つです。また、教育課程(カリキュラム・シラバス)や使用教材(教科書・問題集)を他の学校とじっくり比較することも重要なことといえるでしょう。これは多くの場合、学校の発行する要項や案内書に掲載されています。前述したようにその学校の教育方針は、具体的に年間行事、教科時間数、単位表などに表れていますので注意して案内等を検討するようにしましょう。また、大学附属を選ぶ場合には、系列大学に希望の学部があるかどうかの確認も重要です。

(4) 教育環境や教育施設を検討する

教育環境の一つとして、学校の立地条件があります。教育方針や進学実績が充実していても、最寄り駅から学校周辺の環境が合わなければ、学校に通うこと自体が苦痛を伴うことになってしまいかねません。単に通学にかかる時間だけではなく、最寄り駅から学校までの通学ルートも確認しておきたい項目です。

伝統校の古い校舎には風情ともいえる味がありますが、近年の新築校舎は冷暖房は勿論のこと、ハイテク機器やセキュリティ設備が充実しているところが増えています。その他、図書館をはじめとした教育施設やスポーツ施設などの面で、目を見張る充実した設備を備えている学校も多くなります。帰国生にとっては、学習面以外の芸術やスポーツ活動の継続という点からも、こうした設備は学校選びの要素としておさえておきたい項目となります。なお、校舎を新築した学校は、入学金や授業料において増額や施設費の徴収など費用もそれなりにアップしてきますので、そういった点の確認も必要でしょう。

■ 学力・適性を分析・検討する

前述した項目は、保護者がイニシアティブをとって客観的に分析することが可能ですが、子どもの学力・適性の分析は、なかなか客観的には行えないことが多いようです。過大な期待もさることながら、過小評価も子どもたちの学習意欲を損なう原因となることがあるので厄介です。やはり、子どもの学力・適性を把握している専門家のアドバイスをもとにしなが、親子で対話を重ねていくことが望ましいといえるでしょう。

有名難関国私立大学の高合格率を掲げ、それらの大学の入試科目を中心とした授業カリキュラムを組んでいるような中高6年一貫教育の学校では、帰国子女選考を経て入学した帰国生に対して補講を組み、丁寧に指導している学校もありますが、日本の教科学習に慣れていない帰国生は、その補講ですら苦しむケースも少なくありません。内部進学テストの結果、学力不足を理由に併設高校や大学の進学を断念しなければならぬケースもあります。

外国での経験や習得した外国語などを大切に考えてくれる学校を選ぶのか、進度の速いカリキュラムを組んだ学校を選ぶのかは、今後の進路にも多大な影響を与えますので、子どもの経歴を踏まえた学力や適性の見極めは、非常に重要なポイントとなります。

■ もう一つの入試準備（大学進学）

志望校を選ぶ時には、大学進学のことも考えておく必要があります。特に、大学附属の場合は、系列の大学に志望する学部があれば、附属校を志望校とするメリットは見当たりません。志望校の大学進学状況の詳細は、確認しておく必要があります。附属校と進学校の進学状況を掲載しておきますので、志望校と比較および検討してみてください。

ここでは、高校からの募集を行っていない学校を掲載していますので、高校募集も行っている学校は、高校入試編に掲載しています。

【立教池袋】

《立教大学への推薦》

推薦制度により、例年、卒業生の80～90%程度が立教大学に進学しています。

立教大学への推薦基準の概要は下記の内容になります。

1. 高等学校が定める卒業に必要な単位を修得していること。
2. 学校生活上の状況が良好であること。
3. 立教大学への進学を希望し、勉学の意志を明確にもっていること。
4. 卒業研究論文を提出し、認定されること。
5. 英語についての一定の能力を習得していること。
6. 高等学校長宛に自己推薦レポートを提出し、認定されること。

《学部・学科の決定方法》

高校3年間の学業成績と卒業研究論文、自己推薦の各評価をポイント化して、その合計で推薦順位を決めます。その順位の上位者から自分の希望の学部・学科を選ぶことができます。

ただし、それぞれ学部・学科には推薦の人数枠があり、その枠を越えた場合は第2・第3志望の学部・学科ということになります。

《立教大学(2024年度):内部進学率83%》

学部	人数	学部	人数
法	名	コミュニティ福祉	名
経済	名	経営	名
社会	名	現代心理	名
文	名	異文化	名
観光	名	GLAP	名
理	名		
卒業生数	143名	内部進学者数	118名

★★ 学校選びのワンポイント ★★

学校選びは、ややもすると選ぶ順序を間違えてしまいがちです。帰国枠入試を実施することを第一優先事項にした学校選びはあまりお勧めできません。まずはご家庭の教育方針や本人の性格・適性に応じて、本当に行きたい・行かせたいと思える学校を選ぶことが重要です。帰国枠があるかどうかは、その次の確認項目にしておくべきでしょう。入学するまでは、どうしても「入りやすさ」が最重要項目に思えてしまいがちですが、最も肝心なのは「入学してから」の6年間、あるいは大学を含めた10年間の学校生活であるのは間違いありません。

【学習院】

《学習院大学(2024年度):内部進学率61%》

学部	人数	学部	人数
文	16名	理	8名
経済	44名	国際社会科	23名
法	31名		
卒業生数	199名	内部進学者数	122名

【学習院女子】

《学習院大学(2024年度):内部進学率56%》

学部	人数	学部	人数
文	21名	理	10名
経済	32名	国際社会科	20名
法	23名		
卒業生数	190名	内部進学者数	106名

帰国枠入試を実施している主要中高一貫校の2024年度大学合格実績です。以下の国公立大学・私立大学で合格者数が多い順に3校を掲載しています。高校入試を実施している中学校は、高校入試ガイドスをご参照ください。

■ 首都圏

【国公立大学】 東京・東京工業・一橋・筑波・埼玉・千葉・お茶の水女子・東京外国語・東京農工・横浜国立・東京都立
 【私立大学】 早稲田・慶應義塾・上智・東京理科・明治・青山学院・立教・中央・法政・学習院

《東京都》

【東京都立立川国際中等教育】卒業生140

国公立大学		私立大学	
東京	5	中央	38
一橋	4	明治	37
筑波	4	法政	31
東京外国語	4		

海外大学2

【東京学芸大学附属国際中等教育】卒業生127

国公立大学		私立大学	
筑波	5	早稲田	32
東京	4	慶應義塾	31
東京工業	3	上智	28
一橋	3		

海外大学47

【跡見学園】卒業生149

国公立大学		私立大学	
		明治	9
		学習院	9
		立教	8

海外大学5

【穎明館】卒業生175

国公立大学		私立大学	
東京都立	5	明治	43
東京	2	中央	36
東京工業	2	法政	24
横浜国立	2		

海外大学1

【鷗友学園女子】卒業生228

国公立大学		私立大学	
東京	12	明治	93
一橋	8	早稲田	91
お茶の水女子	5	上智	89
東京農工	5		

海外大学6

【大妻】卒業生273

国公立大学		私立大学	
お茶の水女子	4	法政	75
一橋	3	明治	74
千葉	3	立教	63

海外大学14

【大妻多摩】卒業生148

国公立大学		私立大学	
東京農工	1	法政	21
横浜国立	1	明治	20
東京都立	1	青山学院	15
		中央	15

海外大学4

【大妻中野】卒業生数217

国公立大学		私立大学	
埼玉	2	立教	28
お茶の水女子	1	法政	20
		中央	18

海外大学12

【海城】卒業生316

国公立大学		私立大学	
東京	49	早稲田	121
一橋	20	慶應義塾	114
東京工業	8	明治	80

海外大学12

【暁星】卒業生153

国公立大学		私立大学	
東京	3	早稲田	39
筑波	3	明治	32
東京工業	1	慶應義塾	30
一橋	1	上智	30
千葉	1		
東京外国語	1		
横浜国立	1		
東京都立	1		

海外大学1

【共立女子】卒業生300

国公立大学		私立大学	
千葉	6	明治	87
東京都立	3	立教	79
東京外国語	2	早稲田	46

海外大学1

【恵泉女学園】卒業生177

国公立大学		私立大学	
		立教	22
		青山学院	20
		法政	19

海外大学3

【攻玉社】卒業生245

国公立大学		私立大学	
東京工業	9	明治	107
東京	8	早稲田	96
横浜国立	5	慶應義塾	91

海外大学2

【香蘭女学校】卒業生170

国公立大学		私立大学	
東京外国語	1	立教	98
		上智	11
		明治	10
		青山学院	10

海外大学1

【実践女子学園】卒業生234

国公立大学		私立大学	
		法政	8
		立教	7
		学習院	7

海外大学15

【品川女子学院】卒業生186

国公立大学		私立大学	
横浜国立	4	立教	35
千葉	2	明治	25
東京	1	法政	18
お茶の水女子	1		
東京都立	1		

海外大学—

【渋谷教育学園渋谷】卒業生194

国公立大学		私立大学	
東京	36	早稲田	119
一橋	8	慶應義塾	86
横浜国立	5	上智	47

海外大学34

【頌栄女子学院】卒業生206

国公立大学		私立大学	
東京工業	7	上智	146
お茶の水女子	4	慶應義塾	124
東京	3	明治	122
一橋	3		
東京外国語	3		
横浜国立	3		

海外大学3(過去3年間)

【昭和女子大学附属昭和】卒業生165

国公立大学		私立大学	
東京農工	1	青山学院	12
		上智	11
		中央	9

海外大学—

【白百合学園】卒業生166

国公立大学		私立大学	
東京	2	立教	33
お茶の水女子	2	慶應義塾	31
東京都立	2	明治	26

海外大学1

【聖心女子学院】卒業生89

国公立大学		私立大学	
東京	1	上智	15
千葉	1	慶應義塾	11
		早稲田	6

海外大学—

【聖ドミニコ学園】卒業生66

国公立大学		私立大学	
		明治	13
		立教	7
		早稲田	6
		法政	6

海外大学1

【高輪】卒業生226

国公立大学		私立大学	
筑波	3	東京理科	55
東京	2	早稲田	48
東京工業	2	明治	45
一橋	2		

海外大学—

【田園調布学園】卒業生194

国公立大学		私立大学	
東京工業	2	中央	31
東京都立	2	青山学院	30
横浜国立	2	法政	23

海外大学—

【東京女学館】卒業生220

国公立大学		私立大学	
東京	1	上智	52
筑波	1	立教	48
東京都立	1	青山学院	39
横浜国立	1		

海外大学—

【東京都市大学等々力】卒業生276

国公立大学		私立大学	
横浜国立	7	明治	139
東京外国語	6	立教	83
埼玉	4	青山学院	82
東京都立	4	法政	82

海外大学5

【東京都市大学付属】卒業生230

国公立大学		私立大学	
東京工業	7	明治	122
横浜国立	7	中央	74
東京	6	早稲田	67
一橋	6		
東京都立	6		

海外大学—

【東洋英和女学院】卒業生186

国公立大学		私立大学	
東京	2	立教	50
お茶の水女子	2	早稲田	47
横浜国立	2	上智	39
		明治	39
		青山学院	39

海外大学17

【三輪田学園】卒業生177

国公立大学		私立大学	
筑波	1	法政	19
お茶の水女子	1	明治	9
		立教	8
		中央	8

海外大学—

【明星】卒業生453

国公立大学		私立大学	
筑波	1	法政	21
		立教	20
		中央	17

海外大学—

【八雲学園】卒業生112

国公立大学		私立大学	
		法政	8
		青山学院	4
		立教	4

海外大学20

【山脇学園】卒業生268

国公立大学		私立大学	
東京外国語	1	立教	56
		法政	30
		明治	26

海外大学1

《神奈川県》

【神奈川大学附属】卒業生206

国公立大学		私立大学	
横浜国立	9	明治	86
東京都立	9	法政	48
東京	4	青山学院	47
一橋	4		

海外大学6

【鎌倉女学院】卒業生155

国公立大学		私立大学	
お茶の水女子	3	立教	69
横浜国立	3	上智	53
東京都立	3	明治	51

海外大学—

【カリタス女子】卒業生164

国公立大学		私立大学	
東京	1	立教	19
東京工業	1	中央	19
一橋	1	明治	17
埼玉	1	青山学院	17
横浜国立	1		
東京都立	1		

海外大学4

【公文国際学園】卒業生147

国公立大学		私立大学	
東京	4	早稲田	26
横浜国立	4	青山学院	26
筑波	3	上智	22

海外大学9

【自修館中等教育】卒業生89

国公立大学		私立大学	
筑波	1	中央	11
千葉	1	青山学院	10
横浜国立	1	法政	7

海外大学5

【湘南白百合学園】卒業生163

国公立大学		私立大学	
東京都立	3	立教	42
東京	1	慶應義塾	27
東京工業	1	青山学院	25
お茶の水女子	1		
東京都立	1		

海外大学7

【逗子開成】卒業生262

国公立大学		私立大学	
横浜国立	16	明治	95
一橋	7	早稲田	76
東京	3	東京理科	53
東京工業	3		
筑波	3		
東京都立	3		

海外大学—

【聖光学院】卒業生229

国公立大学		私立大学	
東京	100	早稲田	193
一橋	6	慶應義塾	154
横浜国立	5	東京理科	37

海外大学—

【清泉女学院】卒業生160

国公立大学		私立大学	
東京	2	上智	34
横浜国立	2	立教	23
東京外国語	1	早稲田	16

海外大学5

【洗足学園】卒業生238

国公立大学		私立大学	
東京	14	明治	130
横浜国立	11	早稲田	99
東京工業	5	立教	92
東京外国語	5		

海外大学9

【捜真女学校】

国公立大学		私立大学	
横浜国立	1	青山学院	6
		立教	5
		上智	4
		法政	4

海外大学—

【桐蔭学園中等教育】卒業生157

国公立大学		私立大学	
東京都立	4	明治	28
東京工業	3	東京理科	24
東京農工	3	青山学院	23

海外大学—

【聖園女学院】卒業生60

国公立大学		私立大学	
		青山学院	9
		上智	3
		学習院	3

海外大学—

【森村学園】卒業生164

国公立大学		私立大学	
東京都立	4	青山学院	10
一橋	1	早稲田	8
千葉	1	慶應義塾	8
お茶の水女子	1		
東京外国語	1		

海外大学20(過去5年間)

【横浜雙葉】卒業生176

国公立大学		私立大学	
東京	2	明治	37
一橋	2	上智	36
東京外国語	2	立教	32

海外大学1

■ 面接試験のポイント

入試における面接試験の評価ポイントは、一般的に次のようにまとめることができます。

《身だしなみ》

外見だけで人を判断するべきではありませんが、外見がその人の第一印象を決める重要ポイントであることも事実です。日本の文化・習慣を「常識」として、公の場に出る際の服装や髪型などについては、その場にふさわしい身だしなみを心がけましょう。それが相手に対する敬意を示すことにもなるのです。

《面接官はここを確認する……生徒》

- (1) 学力検査や調査書では測れない受験生の人格や性格、意欲などを見る。
- (2) 事前に提出した調査書の書類などにある疑問点を解消する。
- (3) 受験生の入学する意志を直接確認する。
- (4) 受験生が校風になじめるか、校則を守れるかなどを確認する。

《面接官はここを確認する……保護者》

- (1) 家庭環境や親子関係から、受験生の人格や性格への影響をみる。
- (2) 校風や教育方針に対する保護者の理解度から、受験生の学校に対する適合性をみる。

保護者同伴の面接において保護者が気をつけるべきポイントとしてはいくつかありますが、最も気をつけるべき点は、面接官が受験生に対して質問したことに、助け舟のつもりで横から答えてしまわないようにするという点です。また、基本的に、保護者も返答は簡潔にするとともに、家庭円満で受験生が明るくのびのびと成長している印象を与えることが第一です。なお、入学に際しては、保護者が学校の教育方針についてきちんと理解しており、それについて基本的な同意があることが前提となっています。このことに抵触するような発言は、もちろん控えるべきでしょう。

★★ 面接対策とは…? ★★

「面接は苦手」という受験生は多いようです。また、面接練習ということで、予想される質問に対しての答えをあらかじめ暗記してくる受験生もいますが、一般的にこれはあまり良い対策とは言えません。もちろん、ある程度の準備は必要ですし、想定問答の準備、練習自体が全く無意味だというわけではありません。ただ、答えを暗記する必要はないということです。面接官は毎年、何十人、何百人と生徒面接を経験している先生です。質問に対する答えを聞けば、それが暗記してきたものかどうかはすぐにわかります。そのようなとき、面接官は、受験生の本当の姿を知るために、志望動機や海外生活とは関係のない、全く予想もしていないようなことを質問したり、ひとつのテーマに絞り込んで、そのことについてどんどん掘り下げて質問してきたりします。ですから、いくら事前に答えを準備してみてもすべてについて準備しきれないものでもないのです。大事なことは、答えを用意して暗記することではなく、これまでの海外生活での豊かな経験や体験を踏まえて自分なりの考えや意見をしっかりと伝えるようにしておくことです。そのためには、これまでの海外での生活を親子で振り返るような機会を設けて、しっかり確認することをお勧めします。また、残された海外生活をさらに前向きに、そして充実させていくことがとても大事です。

■ 作文試験のポイント

入試における作文の評価ポイントは、一般的に次のようにまとめることができます。

《文章表現分野》

- (1) 原稿用紙の使い方: 句読点・記号・符号が適切か、字数制限が守られているかなど。
- (2) 文字の書き方: 仮名づかい・送りがな・漢字等が正確か、文字が読みやすく丁寧かなど。
- (3) 語句の使い方: 主述の呼応や修飾語と被修飾語の関係が適切か、文体の統一など。

《文章構成分野》

- (1) 取材の仕方: 課題に合っているか、材料・資料が適切に取り上げられているかなど。
- (2) 構成の仕方: 段落区分・段落の順序・展開は適切か、書き出し・結びの工夫など。
- (3) 論旨のまとめ方: 筋道の明確さ、主題がまとまっているか、説得力があるかなど。

作文を課すということは、受験生の何を見ようとしているのでしょうか。もちろん基本的に上記のようなことは前提として評価対象になるでしょう。しかし、当然その内容がその学校に入学する生徒としてふさわしいものかどうかという視点で作文を評価していることは間違いないでしょう。そういう意味で、内容的には次の2点を絶対を守るべき事項として念頭に入れておきましょう。

- ① 課題に対して、前向きな姿勢でありかつ建設的な意見や考えを述べること
- ② 海外での経験や体験から得たものを中学生活に積極的に生かしていこうとする姿勢で書くこと

この2点は、しっかりと頭に入れて作文を書いていく必要があります。どんなにきれいな字で誤字脱字がなく、文法的な誤りもなく、段落構成がしっかりしていようと、この2点ははずしている作文は不可です。また、内容に深みのない作文も評価は低くなってしまいます。内容に深みがない作文というのは、いわゆる常識的・表面的で、自分の本当の考えではないことを指します。

たとえば「戦争をなくすには」という課題があるとします。自分の頭で何も考えていない人は、大体「暴力や命を奪うという行為はいけないので話し合いで解決すべきだ」という結論を繰り返して述べることとなります。しかし、それはあまりにも当たり前で、つまり「常識的」「道徳的」で、「表面的」な内容の作文であるといわざるを得ません。深みを出すためには、そこに自分の経験を踏まえ、実際に生きている人間の感情というものを深く考えた上で作文を書いていかなければなりません。その結果として、先と同様な結論「話し合いで解決すべきだ」というものであったとしたら、その作文は先の作文とは全く異なる深みのある作文だといえることができます。

この例で伝えたいのは、作文においては、正解＝正しいことを述べる必要はないということです。もちろん、「戦争は仕方がないのでどんどんやるべきだ」という結論は論外ですし、「いくら防ごうとしても防ぎようがない」という結論も、先の「前向き」「建設的」という基本に照らしてみると、その評価は好ましいものとはならないでしょう。大切なことは、自分の具体的な経験を踏まえて自らがその問題を前向きに考えるという姿勢で書くことです。作文は単純な「正解」を求めているわけではなく、「あなた」の個性的で前向きな考えや意見を求めているのです。

◆ 入試準備のポイント

一般に中学入試の場合、ご両親の果たす役割は非常に大きいといえます。特に海外にあっては、まず本人が中学入試をするという自覚を持つことが難しい上に、通っている学校によっても、また地域に塾などの学校外の教育機関があるところ、全くないところなど、個々の教育環境が異なりますので、海外からの受験は、全般に非常に厳しいものになるといわざるを得ません。

本人が入試に向けて一生懸命がんばれるかどうかは、ひとえにご両親の具体的なサポートがあるかどうかにかかっているといっても過言ではありません。

ご両親の果たすべき役割(入試準備)を簡単に以下にまとめましたので参考にしてください。

ご家庭の教育方針を充分に話し合っ て明確にし、ご両親がそれを共有する

ご家庭の教育方針とは、子どもを育て教育していく際にも大切にすべきことは何か、優先順位として何を第一におき、何に目をつけるかといった具体的な行動の指針になるべき根本になります。これが明確でないと、あふれる情報の中で必要な情報の取捨選択ができず、対応がぶれてしまい、子どもへの影響もよいものとはならない可能性が大きくなります。

また、話し合いを通じて、お父さん・お母さんの間での意見の食い違いなども明らかになるかもしれません。その話し合いを通して、中学入試に対するご両親の確固たるコンセンサスがとれ、今後入試までのより具体的な教育方針が定まっていくこととなります。その際には、「昔は〇〇だった」という古い情報ではなく、最新の情報をベースに話し合ってください。

本帰国の時期、帰国先をいくつか想定し、それに対応した準備を子どもとともに検討する

お仕事の都合で本帰国の時期が延期になったり、帰国予定先が変更になったりする可能性をなくすることはできません。しかし、何も決めないでいては、間違えずに最後にあわてることになってしまいます。可能性の高い順に、この場合はこの形で、もしもこうなったらこういう対応でいこう、といった対策をある程度立てておくべきです。

それ以外の全く予想もつかないようなことになっても、その時は想定した形(考え方)に準ずる対応でいこう、といった共通理解を子どもも含めて事前に確認しておくことは大切です。予定に沿って準備をしていけば、変更になった場合でも修正の幅は小さくて済み、あの時あれをやっていたら…という後悔がなくなるでしょう。

学校情報を収集し、子どもに伝えるべき内容を精選し、 学習の動機付けになるように伝え方を工夫する

帰国枠がある学校から学校選択を始めるのではなく、ご家庭の教育方針や子どもに合った学校かどうかを第一の前提として、ある程度の数の学校を候補にあげましょう。

気を付けるべきことは、子どもにとって魅力的かどうかも考慮してあげることです。制服、校舎や部活など、大人から見ると些細なことのように思われることでも、子どもにとっては学校選択の上で大きな要因になっていることも見逃してはいけません。

もちろんそれだけで決めるわけではありませんが、こういっただけを無視してしまうのでは、子どものこれからの入試に向けた学習の動機付けが薄くなる場合があります。

全体を把握できるご両親だからこそ、バランスをしっかりと考慮した学校を選び、子どもにプラスの情報を与えていくということが肝要です。情報の一方的な押し付けではなく、子どもと一緒に、子どもが主体的に選んでいくというスタイルを演出することです。

本当に受験するかどうかを真剣に判断し、その結論を ご家族で遵守する

ある時点(多くの場合は小6の夏休みの前後)で最終結論を出す必要があります。いい加減な準備で「だめもとで受けてみよう」的な中学受験は、たとえ帰国枠入試であっても安易なものではありません。

最終結論を出す際には、国・私立中学受験をやめた場合に、帰国予定地域の公立中学の様子もできる限り調べて、どのような選択があるのかについての検討材料も収集し、確認をしておくべきです。

子どもそっこのけでご両親だけが突っ走る受験も好ましくありませんが、中途半端な準備や意識の中で受験に突入していくというのも、あまりよい結果を生むことはないようです。目に見える合否の結果として、たとえどちらになっても、受験に向けた学習経験そのものが、本人にとってプラスになったといえる準備をご両親で演出してください。ゴールは、合格発表だけにあるのではなく、その先の子どもの姿にあるのです。

★★ 願書に関する確認事項 ★★

願書の取り寄せ、出願はまさにご両親の役割です。早め早めに手配していくことが大切となります。中学受験は、願書を作成するところから入試が始まっていると考えて間違いありません。

特に海外からの出願においては、在留証明や帰国枠受験のための資格を証明するための書類など、国内一般のものよりも準備すべきものは多くなります。さらに、学校以外での活動やその成果を目に見える形でまとめて提出することが求められたり、現地校やインター校に通っていれば、成績などに日本語訳をつけたりしなければならぬ場合も出てきます。これらは受験校にもよるので一概に必要なとはいえませんが、少なくとも早めに調べておかないと、対応が後手後手に回ってしまいます。

願書の提出方法も確認しておきましょう。最近ではインターネット出願が一般的になっていますが、まだ郵送や窓口出願などの学校もあります。そういう場合、基本的には代理出願は避けるべきです。安易にご親戚に依頼しないほうがよいでしょう。これまでも、出願時に詳細を聞かれたり、記入ミスがあったりした際に対応できない、日々の生活が忙しく、うっかり出願締め切りを過ぎてしまった、といったトラブルが起きています。やむを得ず依頼しなければならないような場合でも、最後はご両親が責任を持って確認していくということが大切です。

◆ 入試直前のポイント

海外・帰国生の受験は年内からスタートします。いくつかの学校では、10月ごろから海外会場やオンラインでの入試が実施されていますし、日本国内でも早い学校では11月から帰国枠入試が始まります。つまり、受験生にとっては、入試は決して「来春」の話ではなく、夏休みが終わればもう間近に迫っているということになります。9月以降はまさに願書を取り寄せ、必要書類を整え、出願する計画を組んでいく必要があるわけです。

以下では、一般には12月～2月上旬に集中している日本国内の入試に向けて、これを乗り越えるためにどのようなことに注意が必要なのか、いくつか具体的に注意事項を取り上げて簡単に解説します。

(1) 受験スケジュールを確定させる

入試日や合格発表日以外に、出願期間や併願校の入学手続き締切日などにも注意が必要です。次々に合格という「うれしい知らせ」は、入学金等を次々と納入しなければならないという現実を引き起こすことがありますので、スケジュールの確認をしておきましょう。

(2) 帰国フライトを手配する

この時期(12月～1月)は、どこの国からの帰国便も混雑が予想されます。受験スケジュールが確定しないとフライトの手配も遅れます。遅くとも時差や温度差を考えて、1週間前には帰国して、日本で入試の最終準備をしっかりとってください。

(3) 帰国先の住居(実家・ホテル・ウィークリーマンションなど)を手配する

この時期(1月～2月)は、ホテルやウィークリーマンションも地方からの大学受験生などで混雑します。受験スケジュールをできるだけ早く決定し、予約が必要であれば早めに手配するようにしましょう。なお基本的には、入学手続き終了まではご両親のどちらかが日本に滞在している必要があります。

(4) 入試直前の追い込み、調整のために入試直前講習への参加の手配をする

この時期は、帰国先の地元の塾でも入試の追い込みの時期になっていますので、突然新規の塾を訪ねても断られるケースがあります。春や夏の講習など過去に参加したところにあらかじめ頼んでおくとういでしょう。

基本的には以上のようなことをこなしつつ、願書の作成や提出、試験当日には子どもを入試会場に連れて行ったりしなければなりません。中にはこの合間に本帰国後の住居を探すお母様もいます。子どもの健康管理も大切な仕事のひとつですが、本当は何よりお母様自身が倒れないようにご自身の体調管理をしっかり行うことが最も大切となります。時差や季節の違いなどに加え、疲労や極度の精神的ストレスなどから来る体調不良でお母様が倒れてしまつては元も子もありません。こうした際のお父様のサポートは予想以上に大切で、入試突破に向けた大きなファクターともなります。

以上、帰国枠中学入試は家族全員でしっかりコンセンサスをとって取り組んでいかなければならないということを感じていただけたでしょうか。海外からの中学入試の成功か失敗かという判断は、決して合否結果だけではない、ということをおわかりいただけたのではないのでしょうか。

入試を通して家族みんなが共有する貴重な体験をこれからの財産にしていいただければと思います。

4月には、希望の学校の制服を着たお子さんと、家族みんなで近くの公園の桜を背景に、「にっこり笑顔の記念写真」といきたいものです。

(5) 弟妹がいる場合、この期間の弟妹の面倒をどうするか具体的に決めておく

お母さんと一緒に一時帰国して公立の小学校に体験入学させる、あるいはお父さんと滞在国に残る、その場合の食事や洗濯などの身の回りの世話をどうするかなど、早めに、そして具体的に決めておくことが大切です。

(6) お金の準備をする

航空運賃、ホテル代、交通費、食費から始まり、入試直前講習参加費用、冬用・面接用の衣服購入費用(親・子)、床屋・美容院、クリーニングなどなど、予想外の出費がかかります。入学金、授業料、施設保証金など、合格後の出費も当然ありますので、しっかり計算して日本の銀行口座に現金を用意しておきましょう。

(7) 日常生活必需品について

いざウィークリーマンションやホテルに宿泊する場合、必要になる日用品が多く出てくるものです。できれば次のようなものは持参したほうがよいでしょう。

筆記用具一式(定規、コンパス、分度器、のり、はさみ、ホッチキス、クリップ等々)、保険証、予備の眼鏡、印鑑、うがい薬、常用の風邪薬や頭痛薬、体温計、解熱剤、リップクリーム、絆創膏等々(当然帰国後に購入してもかまいませんが、帰国後はかなり多忙でそういった時間をもてないことがありますし、物によってはコンビニ等では購入できないということもあります。)

(8) お父様の帰国を検討してみる

保護者面接がある場合、なるべくお父様の帰国も可能になるように努力してください。毎年多くのお父様が仕事に絡めて一時帰国されているようです。

3. 学習アドバイス

帰国枠中学入試の受験準備のために、海外ではどんな学習をすれば効果的なのか、過去問をどのようにして入手し、いつまでに終了しておくべきか等々、具体的にその学習方法を考えると難しく、煩雑であることがわかります。これらについての考え方や方法論はいくつもありますが、ここではその中のいくつかのパターンを取り上げておきます。

◆ 学習のポイント

第一志望校、そして第二志望校以下の受験校の入試スタイルを確認してください。「帰国枠入試か一般入試か」「入試科目に作文・面接試験はあるか」「志望校群の入試科目に著しい隔たりはないか」「帰国枠の入試問題のレベルは一般と比較して易しいのか、同レベルなのか」などを確認して今後の学習スケジュールを組み立てていく必要があります。

(1) 帰国枠がなく、一般入試と同じ入試問題

(2) 帰国枠はあるが、一般入試と同じ入試問題(合格基準点を若干考慮する)

このタイプの中学校は、国語・算数・理科・社会の4科目入試が中心になります。学校により出題傾向が異なりますので、市販されている過去問の直近3年分を中心に解き、傾向および難易度を確認・分析してください。

入試対策としては、地域に中学入試に対応したコースを設置している塾があれば、通ったほうがよいでしょう。通常はその国内の一般入試とほぼ同様のスケジュールやカリキュラムが生まれ、同じテキストを使って指導しています。それにあわせて学習に集中し、定期的な学力テストおよび志望校判定試験で自分の位置を確認しながら、国内の一般受験生と同レベルの質と量を確保した学習をしてください。特に理科と社会は、自然環境や身近な動植物、社会の仕組みや地理・文化などが異

なりますので、日本国内で準備をする以上の時間がかかること想定していた方が無難でしょう。

そういった塾がない地域でこのタイプの入試を受ける場合は、本人・ご家族ともにかなり強い意志が必要となります。普段はオンラインでの指導や家庭教師、もしくは通信教育や参考書、問題集を使って自ら学習を進め、長期の休みには一時帰国して講習などに積極的に参加する以外に方法はありません。ただし、受験までのスケジュールをしっかりと立てて管理実行すること、質問がある場合にすぐに質問できる環境は必要です。場合によっては学校の先生の協力を求めましょう。

(3) 帰国枠があり、入試科目が国語・算数で、一般入試とは試験内容が異なる

このタイプの中学校の国語・算数のレベルは、学校によって異なります。中学入試の基本問題レベルから一般入試とほぼ同レベルまで幅広く、入試日が一般入試に近づくにつれて、レベルも一般入試に近づく傾向があります。

一般入試に近いレベルの問題を出題する中学校は、前述の(1)(2)と同様の準備が必要になります。一方、基本レベルを中心に問題を出題する中学校は、難度の高い問題に手をつけるよ

りは、基本的な問題に大きく比重を置き、基礎レベルを100%得点できるように繰り返し演習していく方が合格への近道になります。

基本であれ応用であれ、中学入試問題は、教科書の知識だけでは解けない問題が中心となっていますので、早めに準備をスタートさせてください。

(4) 帰国枠があり、入試科目として国語・算数に加え、英語の試験がある

国語・算数は、(3)と同様に学習してください。英語の試験の対策として、過去問が入手できれば、出題傾向に沿った学習が最も効果的です。英検やTOEFLを利用する場合は、ある程度の取捨選択が必要になります。

一般的に、現在身につけている英語は、会話が通じるということ優先して習得した英語ということになるでしょうから、文法や文章表現としての英語(正確なスペル、抽象概念の単語量など)の力をきちんとつけていく必要があります。それには、難関私立高校入試や大学入試のための問題集などで文法事項

をチェックするのがレベル感も合い、効果的です。近年の長文読解問題では、英字新聞から出題されるケースも見られますので、英字新聞を読むという習慣もできれば身につけたいところです。

ただし、中には英語よりも国語・算数に比重を置く学校もありますので、事前に教科書比重については確認しておくことが大切です。

(5) 帰国枠があり、入試科目が英語1科(Essayを含む)

このタイプの入試は、現地校やインター校の出身者が対象になります。英語については、(4)と同様に進めてください。このケースでは、幅広い文章読解能力(Reading)と文章作成能力(Writing-Essay)が求められます。

これまでの入試問題を見ると、文法力、語彙力ともに英検準一級レベル以上の力が要求されています。その上で、

Essayなどの対策として、添削指導を受けていくことができればベストです。なお、このケースでは、日本語だけでなく英語による面接試験、英会話やディスカッション・ディベートが加わることも多いので、英語を使つての表現力を磨いておく必要があります。

(6) 帰国枠があり、入試科目が適性試験・面接

このタイプの中学校では、過去問が非公表になっているところが多く、その場合、具体的な問題の傾向に沿った対策をとることは難しくなります。過去問がないと、具体的な学習の方向性が見えてこないために非常に不安になりますが、これは他の受験生も同じ条件です。対策としては、A.国語・算数の基本的な学習をしっかりと行う。B.学校での勉強に真剣に取り組む、という2点です。現地校、インター校に通う生徒も学年相当の漢字や計算はできるようにしておきましょう。

大切なのは、その学齢(12歳)として持つべき「教養」を身につけておくことです。「教養」とは、学科に限らず、困難に直面したときの行動力、未知に対する対処方法などを導く下地になるものです。いわゆる暗記をしたり、公式を使って正答を導いたりするものとは異なる力ですが、それでもこの力の基礎となるのは、やはり学校で習っている事項です。これは自分の判断や考えを確立するための基本になりますから、決しておろそかにしないことです。